



広報

No. 307

～ 文教のまち西原 ～

にしはら

町の世帯・人口

(平成9年7月末現在)

世帯数	10,072世帯
人口	30,699人
男	15,607人
女	15,092人
7月の人口移動	
出生	42件
死亡	10件
転入	74件
転出	99件
婚姻	12件
離婚	4件

編集・発行/ 西原町役場文化広報課(広報係) 西原町字嘉手苅112番地 ☎098(946)9846 印刷/ 沖縄コロニー印刷



として保存すると便利です

今月の主な内容

- 第10回親子で学ぶ戦争追体験 平和バスツアー (2頁)
- 魅せた! 世界レベルの演奏 ～西高マーチング部が音楽の五輪で二冠～ (1、4頁)
- まちの話題 (6～7頁)
- 町史だより No.25 ～方言調査・掛保久～ (9頁)
- お知らせでーびる (10～12頁)

第11回西原まつり(10/25(土)～26日、西原町民陸上競技場)

“音楽の五輪”(オランダ)で二冠

— 県立西原高校マーチングバンド部 —

県立西原高等学校マーチングバンド部が、4年に一度、オランダのケルクラード市で開催される“音楽の五輪”「第13回世界音楽コンクール」に出場、パレードとショーの2部門でそれぞれ金賞を受賞するという金字塔を打ち立てました。これは同校がこれまで国内外で示してきた実績があらためて評価されたもので、同校の実力が、世界でもトップクラスにあることの証明といえそうです(関連4頁)。

親子で戦争を追体験、恒久平和を誓う

第十回西原町親子で学ぶ戦争追体験平和バスツアー――

町(翁長正貞町長)と町教育委員会(島田賢松教育長)では、戦争の悲惨さと無益さを知ってもらい、平和の尊さについて親子で学んでもらおうと、七月二十四日に、第十回西原町親子で学ぶ戦争追体験平和バスツアーを開催しました。同バスツアーには、町内の親子百十人が参加し、中部の戦跡地を回りました。

戦後世代が増え戦争体験の風化が進む中、その教訓の継承が平和行政の大きな課題となっています。西原町は、先

の大戦で、当時の村民の約半数を失うというつらい経験から、基地も核もない平和で豊かなまちづくりと美しい郷土、

知ってもらい、平和を考えてもらおうと、親子で戦災跡地等を訪ねるこの「戦争追体験平和バスツアー」は昭和六十三年(一九八八年)に始まり



△「象のおり」を実際にみながら、地主の知花昌一さんから話を聞く平和バスツアーの参加者たち。

素晴らしい地域文化を子孫に引き継ぐことを責務と使命とし、昭和六十年十二月に「非核反戦平和都市宣言」を決議しました。同宣言を全町民に推進し、次世代を担う青少年に戦争の実態を

町中央公民館での出発式の後、西原の塔で黙禱と献花をし、戦争時の町内の戦況状況を学びました。嘉数高地(宜野湾市)で普天間飛行場の実態を、サンパウロの丘(嘉手納町)では嘉手納飛行場の実態を見ました。読谷村では、楚辺通信施設の地主でスパー

マーケット経営の知花昌一さんをガイドに、米軍上陸の地である渡具知海岸、一千人の住民が避難し助かった同村波平のシムクガマ、国による不法占拠が一年以上も続いた通称「象のおり」こと楚辺通信施設、村民が集団自決したチビチリガマを巡回しました。



あやか となき

平和バスツアーにさんかして

琉球大学附属小学校一年

となき あやか

参加した親子は、初めて目にする「象のおり」の大きさに驚いたり、チビチリガマで集団自決の状況や入り口にある「平和の像」の由来などを聞き、あらためて戦争の悲惨さにシヨックを受けているようでした。

わたしは、「シムクガマ」の、どうくつをみてびっくりしました。このおきなどうくつでは、しんだひとは、いなかったけど、かわが、ながれていても、たくさんのおしっこやうんこで、みずが、のめなかったのが、かわいそうでした。

「チビチリガマ」のぞうをみて、こわかったです。わたしは、「しゅうだんじけつ」ということが、よくわかりませんでした。

じぶん、じぶんを、ころしたら、いのちをすてる

わたしの、おばあちゃんから、きいた、せんそうのはなしも、おもいだし、あたなが、いっぱいになりました。おばあちゃんの、おはなしが、わかりやすかったので、「そうかどうかだったのか」と、おもいました。わたしは、せんそうは、しないとやくそくできるおとなに、なりたいです。



新垣 麻希子 さん

平和バスツアーに参加して

西原中学校二年

新垣

麻希子

「戦争」この言葉が、本当に恐ろしい事をこのツアーで感じた。今まで、本や映画、写真などでの戦争しかしなかったが、このツアーで、シムクガマやチビチリガマを見て、また実際に入ってみて、私は思った。このガマの中で、人々はいつ殺されるのだろうかという不安をいだき続けた日々をおくっていたのだらうと。

この二つのガマの話を聞いて、私はすぐやりきれない気持ちになった。一口離れたシムクガマでは、ハワイ帰りの男の人が二名いたおかげで米軍に救出されたのに対して、チビチリガマでは、米軍の言葉を信用せず、勝てるはずがないのをわかっているのに、竹槍で抵抗し、反撃され、自ら洞窟に火をはなち「集団自決」をしたそうだった。この言葉をガマの前で聞いた時、本当にやりきれない気持ちでいっぱいになった。自ら死を選ぶ。そうせざるをえなかった。そう、自決とは強制的な死を意味するので

はないだろうか。誰が本当に国のためだと思つて死ぬのだろうか。まだ生きていたい。夢も希望も持った赤ちゃんからお年よりまで生きたかったに違いない。絶対そうだった。戦争のせいですべてうばわれた。戦後、このガマの前に、ここで亡くなった人々を弔う像がおかれたが、この像もある時、何者かによって無残に破壊された。そこでの遺族の言葉に私は悲しくなった。「これで私たちの家族は二度殺された。」

この像を壊した人はどんな気持ちで壊したのだらうと、その人(たち)に怒りをおぼえた。

私たちが住むこの西原町内にある「西原の塔」は、戦争によって亡くなった人々のためにたてられているそうだった。この西原でもたくさんの方が亡くなった。すごく悲しかったと思う。すごく苦しかったと思う。本当にこんな戦争をおこす、人間はバカだと思つた。人間同志で殺し合つて、何が残るんだらう。残るのは悲しさだけだと思つた。それがわかっているのにくり返す人間は本当にバカだと思つた。

そんな戦争に使う兵器をまだ持っているなんて信じられない。沖縄には基地がたくさんある。「基地の中に沖縄がある。」という言葉に耳にしたこともあるくらいだ。その基地の中で戦争に使う兵器がある。戦争を知る沖縄に兵器がある。それは悲しいと思う。兵器があるから戦争がおこると私は思う。兵器を持つてないと反撃できないというなら、どの国も兵器を持たないで、話し合ひで解決してほしいと思う。人間なんだから……。

私は、このツアーに参加し、平和のすばらしさを改めて知り、平和の尊さを知り、今のこの平和の裏には過去の戦争という悲しい大きな傷がある事も知った。だから、私たちは、この平和をずっと壊さずに守つていきたいと思う。それは戦争のせいで、できた大きな傷をなおしていくことになると思うから……。

(※ガマ＝沖縄の方言で「洞くつ」のこと。)

児童らの平和への思いが作品に

—沖縄平和祭'97 特別企画展—



△たくさんの方々を訪れた沖縄平和祭'97 特別企画展in西原町。

地利用計画などがパネル展示されました。

会場を訪れた人々は、児童らの平和メッセージやコザ騒

「ひびけ世界へ 平和の波音 沖縄平和祭'97 特別企画展」

(主催・県、共催・県教育委員会、西原町)が、七月十九日から二十四日まで町中央公民館で開催されました。

県内の児童、生徒の平和への思いを託した絵画、作文、詩をはじめ、基地所

在市町村の米軍基地の写真、跡

地利用計画などがパネル展示

されました。

動、県民総決起大会など米軍基地に絡む事故、事件、出来事を写真で追ったパネル写真などに見入っていました。

また、期間中に、視聴覚室で、沖縄戦の記録フィルムである「沖縄戦一フィートフィルム」の上映もありました。七月二十日には、松永和宏弁護士(コザ法律事務所)を講師に迎え「沖縄の米軍基地と憲法」のテーマで、同ホールで講演会が行われました。

なお、絵画、作文、詩の各部門で入賞した町内の児童、生徒は次の通り(敬称略)。

【絵画の部】

《小学校》優秀賞・玉那覇淑美(西原東小学校六年)、佳作・玉那覇美咲(西原南小学校五年)

《中学校》佳作・砂川貴子(西原中学校一年)、金城都(西原中学校二年)

【作文の部】

《小学校》佳作・おおたともし(西原小学校二年)、仲本加世子(西原東小学校三年)、おがわかな(西原東小学校三年)、伊芸倫子(西原小学校六年)

【詩の部】

《小学校》佳作・ごやかひろ(西原東小学校三年)、新里薫乃(西原小学校六年)

大事な契約書や遺言書などは公正証書に——

重要な取引をしたり遺言を残したりするときは、トラブル防止のために公正証書の作成をお勧めします。公正証書に関するお問い合わせは最寄りの公証役場、日本公証人連合会(☎03-3502-8050)へ。相談無料。



△会場のロダ・スタジアムを埋め尽くした大観衆から、スタンディング・オベーションを迎えられた西原高校マーチングバンド部。

魅せた! 世界レベルの演奏

“音楽の五輪 (オランダ)” で二冠

― 県立西原高等学校マーチングバンド部 ―

県立西原高等学校マーチングバンド部が、四年に一度、オランダのケルクラーデ市で開催される“音楽の五輪”「第十三回世界音楽コンクール」に出場、パレードとショーの二部門でそれぞれ金賞を受賞するという金字塔を打ち立てました。これは同校がこれまで国内外で示してきた実績があらためて評価されたもので、同校の実力が、世界でもトップクラスにあることの証明といえそうです。

同コンクールの最終日である七月二十七日午後零時半

(日本時間同日午後七時半)

に、赤と白のツートンカラーのユニフォームで登場した同マーチングバンド部は、沖縄民謡を基調としたメロディーの演奏と勇壮、正確、華麗で格調高い演技を披露し、会場のロダ・スタジアムを埋め尽くした二万五千人余の大観衆に、“オキナワ”カラーを強く印象づけるとともに、沖縄をアピールしました。同マーチングバンド部にすっかり魅了された会場の人々から、惜しめない拍手が送られていました。最後の締めくくりとなる「芭蕉布」の曲では、それ



△“オキナワ”カラーを強く印象づける演奏・演技を披露し、会場の人々を魅了した。

までの拍手や手拍子、声援のあらしが鳴り止み、水を打ったような静けさの中、観衆一人ひとりに、深い感動を与えました。しんとした会場は、そのあと怒涛のような万雷の拍手で包まれ、「ブラボー」の歓呼が響き渡りました。

また、同校はコンクールへの出場のほか、ケルクラーデ市やルクセンブルク公園で立演奏を披露したり、地元高校とも交流を深めました。

※同コンクールは、音楽のオリンピックといわれ、四年に一度オランダで開催され、オーケストラ、合唱、吹奏楽、マーチングの四部門からなり、今

回は世界から三百チームがエントリーしています。同大会マーチング部門への日本からの出場は、高校生単独編成チームとしては一九八五年、九三年に出場した横浜関東学院中・高等学校に続いて全国で二校目。コンクール期間は七月の毎週土、日曜日の一カ月間で、西原高校はレベル的に最も高い評価が与えられているラストに登場するチームとして最後の週に出演しました。今大会マーチング部門への参加は十三カ国で、パレードに八十六チーム、ショー部門に五十五チームがエントリーしました。



▷公園などで演奏を行い、地元住民たちとも交流を深めた。



△サワフジを愛でる住民たち（内閣御殿前広場）。

「サワフジを愛でるタベ」に二千五百人

「第三回サワフジを愛でるタベーサワフジ美らさや肝美らさ」

樹齢四百五十年といわれる由緒ある「内閣御殿のサワフジ（サガリバナ）」を愛でながら西原の町づくりに活かそうと、「第三回サワフジを愛でるタベーサワフジ美（ちゆ）らさや 肝（ちむ）美らさ」が、七月二十六日午後七時から、内閣御殿前広場で盛大に開かれました。

町づくりの目玉として毎年多彩な演目が披露されてきた同夕べも、三回目となる今年から町商工会主催になりました。

同会が町づくりのテーマソングとして公募した「サワフジの詩」（作詞・平敷静男、作曲・石川静枝）、「さわふじ

音頭」（作詞・石川清義、作曲・石川静枝）が発表され、台湾出身の歌手、リーミレイ

さんが情感を込めて熱唱しました。音頭は振り付けを担当した若柳喜之介（新川愛子）さんの指導で、町商工会婦人部や観客も一緒になって踊り、大いに盛り上がりました。

また、嘉手苺婦人会の祝い節や声楽家・伊江朝明さん、久高友吉民謡研究所のみなさんが花を添えました。

会場では、サワフジの名を冠した泡盛やカステラ、テレフォンカードなども販売されました。

主催の町商工会では「サワフジを西原のシンボルとして定着させ、このまつりを継続して西原の地域振興に寄与し

ていきたい」と話していました。

小那覇交番が“サワフジ”でお色直し

このほど、小那覇交番がお色直しをし、外壁いっぱいにはサワフジの木や色とりどりの花、昆虫が描かれた『さわふじ交番』となりました。

交番の模様替えは、今年の五月下旬、町内の通り会が結成した『さわふじ交番創り』実行委員会』を中心に、サワフジを活かした町おこしの一環として企画されたもの。小那覇交番近くの内閣御殿にある樹齢四百五十年といわれるサワフジ



△「さわふじ交番」としてお色直しした小那覇交番で行われた関係者によるテープカットのまよう。

の木は、地域の誇りと町おこしのシンボルとなっており、地域通り会が、交番の外装をサワフジの絵を書き入れて町民に親しまれる交番にしてほしいと浦添署に提案しました。町商工会と坂田通り会、三八通り会、産業通り会、サワフジ通り会を中心に実行委員会を結成して協賛金を提供、沖縄広告美術協会東部支部のみなさんがサワフジを描き、西原東中学校の生徒会と西原東小学校六年生の児童生徒のみなさんが、鮮やかで色とりどりの花や昆虫を描きました。

交番へのイラスト記入は県内で八番目になるが、こどもたちが描くのは初めて。

七月二十四日に開かれたお披露目会には同実行委員会ら関係者が出席し、サワフジの植樹と新城昇浦添副署長、翁長正貞町長、上地健一サワフジ通り会会長らによるテープカットが行われました。

また、子どもたちを代表して、玉城梅納さん（西原東中学校三年生）、久場友弥くん（西原東小学校六年）らが「描かれたサワフジの絵を見ると、信号待ちのドライバーも優しい気持ちになると思います」と感想を述べました。

新城副署長が「今後も地域の安全確保と住み良いまちづくりのために、署員一同頑張りたい。引き続き支援をよろしくお願いします」とあいさつしました。

なお、同事業の主な協力参画団体は次の通り。

▽坂田通り会▽三八通り会▽サワフジ中央通り会▽産業通り会▽西原建設協力会▽沖縄縄広告美術協会東部支部▽西原まちづくり町民の会▽西原町商工会

※小那覇交番は、県下四十一ブロック中、活動実績で二月二位、同三月三位、五月二位と優秀な成績を収めています。



▽ソフトボール競技(成年2部)で国体九州ブロック大会に、県代表選手として出場する玉城善則氏(左端)、中山照雄氏(右端)

九州ブロック大会に本町から2名が出場

ーソフトボール成年2部ー

「ぜひ優勝を勝ち取ってきたい」。本町から国体への県代表となった玉城善則さん、中山照雄さんと関係者が、7月29日に翁長正貞町長を表敬訪問し、平成9年度国民体育大会第17回九州ブロック大会ソフトボール競技(成年2部)への出場報告をしました。

玉城さんらは、8月23日、24日の2日間にわたり、福岡県の行橋市で行われる同競技に出場します。あいさつの中で、選手と監督を兼任している玉城さんは「2年後には国体の種目からソフトボール競技の成年2部がなくなるので、頑張ってよい成績を残したい」と話していました。

翁長町長は「練習の成果を発揮され、上位入賞を果たされるよう祈念します。今度はぜひ優勝の報告に」と、玉城さんたちを激励しました。



△全国大会の試合競技団体の部で、県勢初の準優勝をした西原なぎなたクラブのメンバー

公式競技になって初の全国大会で、見事準優勝を飾った末吉いつき(中央)、城間千春(右)のペア



“なぎなた”で、中高校生ら大活躍

《西原クラブが準優勝ー全国中学なぎなたー》

なぎなたのジュニアオリンピックといわれる第5回全国中学生大会(7月27日、広島県立総合体育館)に出場した西原なぎなたクラブ(真栄城時子監督)が、試合競技団体の部で県勢として初めての準優勝、西原東中学校A(山里管子顧問)が3位となるなど大健闘、全国に“西原旋風”を巻き起こしました。

《西原高校の末吉いつき、城間千春が個人演技で準優勝》

京都府で行われた全国高校総体の第2日(7月3日)に、なぎなたの個人演技で西原高校の末吉いつき・城間千春ペアが県勢初の準優勝を飾りました。

公式競技になって初の大会での準優勝に、真栄城紀子監督も選手以上に大喜び。決勝では一方的な判定となったが、「沖縄と他府県のカラーの違いによるもので、沖縄らしさが出た結果だと思う。持てる力を出し切った」と選手も満足でした。

まの 話題



▽キックベースボールで町内の小・中学生らが交流した「青少年スポーツレクリエーション大会」

キックベースボールで交流

ー青少年スポーツレクリエーション大会ー

町青少年健全育成協議会(会長・翁長正貞町長)では、スポーツを通して町内の小・中学生の協調性と団結心を培い青少年の健全育成と相互交流を図ろうと、8月4日午後、町陸上競技場で、キックベースボール大会を開催し、町内の小・中学生ら9チーム129人が参加しました。

試合は4コートに分かれて予選リーグを行い、各コートの予選1位チームが決勝トーナメントに進む方式で進められました。この日に向けて特訓してきたというチームや当日にメンバーが決まったチームなどもあり、珍プレー好プレーが続出する試合風景となりました。応援の父母たちは、選手の好プレーに拍手や声援をおくり、選手たちも和気あいあいと楽しみながら試合をしていました。

1位から3位のチームには賞状や楯が贈られ、参加者全員に参加賞が贈られました。

なお、結果は次の通り(3位まで)。

【優勝】我謝 【2位】小波津 【3位】与那城



▽ビーチバレーボール競技では県下でその名を知られた我謝ブラザーズ

我謝ブラザーズ! ビーチバレーボールで3連覇

7月20日と21日の2日間、宜野湾市の宜野湾海浜公園・トロピカルビーチ特設コートで行われていた「ローソンチャレンジカップ・沖縄ビーチバレーボールトーナメント'97」(主催・県バレーボール協会ほか)の一般男子で、熱戦の末、本町の我謝ブラザーズ(我謝淳(がじゃすなお)・正精(まさあき))が3年連続で優勝を決めました。

我謝ブラザーズは、昨年、一昨年とこのトーナメントを制し、昨年は九州大会を制したこともあり、優勝候補の筆頭に挙げられ、戦前の予想どおり、小柄ながらも抜群の跳躍力と正確な判断力で相手に付け入る隙を与えず、決勝では「熱砂の王者」チームを破り、文字通り熱砂の王者となりました。

優勝チームにはトロフィーとメダル、商品券が授与されました。

(社)日本動物福祉協会 第38回 動物愛護の作文コンテスト

小・中学生対象に、400字原稿用紙4枚以内。9月20日締切。詳しくは、動物たちを守る会ケルビム 〒901-22 沖縄県宜野湾市大山5-2-3 宜野湾大山郵便局留 ☎098-890-6477 FAX890-6476

お年寄りも安全運転



△高齢者が参加して「かりゆし号」で模擬運転し、運転技術や判断力を判定した交通安全高齢者講習会。

県警察本部が推進している夏の交通安全県民運動(7月21日～30日)の一環として、お年寄りを対象にした交通安全高齢者講習会が、7月28日午後、町社会福祉センターで開かれ、約60人が参加しました。浦添警察署(東恩納兼吉署長)、浦添地区交通安全協会(手登根勇会長)、西原町交通安全推進協議会(翁長正貞町長)の共催。

講習会では、浦添署交通課長の當真弘次さんによる講話会と「かりゆし号」を活用した模擬運転体験がありました。講話会で當真交通課長は「交通事故は、被害者、加害者を問わず大変悲惨なもので交通戦争といわれるほど。日頃から注意することがなによりの事故防止につながる」と、方言を交えながら高齢者へ注意を喚起していました。

「かりゆし号」は、コンピュータグラフィックが駆使された最新鋭機で、シートベルトやハンドルもきっちり装備されたゲームセンターのレーシングゲームのような外見で、模擬運転したドライバーの技術や判断力を判定します。さっそく腕自慢の男性ドライバーが張りきって乗り込んだが、あえなく衝突、見守っていたおばあちゃんたちは大笑い。和気あいあいとした雰囲気の中、しっかり学びました。

まちの話題

在日米国大使館広報担当第1書記で広報・文化交流局次長のカール・K・チャン氏(48歳)が、8月6日午前、翁長正貞町長を表敬訪問しました。

カール氏は、沖縄との相互理解を深めようと来県したもので、本町のほか、行政、経済、文化など県内各分野のリーダーと精力的に会談したそうです。以前、島田賢松町教育長が就任あいさつで米国総領事館を訪れ、西原町の国際交流での協力を呼びかけたことに対し、カール氏がこの度の来県を利用して、米国の協力体制の説明のためぜひ西原町へ、と今回の訪問となりました。

会談では、翁長町長をはじめ、大城助役、島田教育長、城間収入役ら町の4役が対応、日米交流プログラム等についての意見交換を行いました。

カール氏は「沖縄の人々は親切でとても友好的で素晴らしい。大好きです」と話していました。

カール・K・チャン氏が来庁



△翁長町長(右)を訪問し、日米交流プログラム等について意見交換した在日米国大使館広報担当第1書記で広報文化交流局次長のカール・K・チャン氏(左)。

西原東小学校で稲刈り



△みんな汗だくになりながらも楽しく稲刈り

西原東小学校(大盛永意校長)では、7月17日に、6年生による稲刈りを行いました。

この稲は、現在の6年生が5年生だった今年3月20日の終業式当日に、野村進教頭の指導で学校の教材園の一角やミルクの空き缶(直径18センチメートル、深さ25センチメートル)などに植えたもの。

大盛校長は「ヤゴやゲンゴロウといった水生動物を見るよい機会であると思います。また、学校近くには琉球王国の第2王統の始祖である尚円王ゆかりの『内間御殿』があり、尚円王は伊是名の出身で、稲作と関係があり、また、『内間御殿』という地域文化や琉球の歴史などを学ぶよい機会であると思います。さらに、比較的都市近郊型の本町のような学校でも、ミルク缶を利用したりすれば稲作も可能であり、要は工夫次第ということも学べたのでは」と話していました。

主に栽培委員が中心になって、教材園の稲を泥だらけになって刈りました。刈った稲は初穂で豊饒をよぶ「嘉例(カーリー)のもの」(めでたいもの)として、生徒たちに配られました。

家庭裁判所では、最近の少年非行の特徴(いじめ、覚醒剤乱用、「オヤジ狩り」、「援助交際」など)も踏まえ、少年の健全育成を目指して、一人ひとりの少年とその家庭の問題点に応じて、少年が立ち直るために最もふさわしい処分を決めています。また、少年や保護者にも必要な指導、助言等もしています。



△「婦人の主張大会・島クトゥバし語やびら大会」には、たくさんの会員が参加して、発表者の意見・お話しに耳をかたむけた。

宮良道子さん、儀間信子さんが代表に 「婦人の主張大会・島クトゥバし語やびら大会」

町婦人連合会（川満ヤス子会長）は、八月十三日午後、町中央公民館ホールで、「平成九年度婦人の主張大会／島クトゥバし語やびら大会」を開催しました。

婦人の主張大会は、自分自身の体験を通して感じた職場・地域・家庭内に内在する婦人の諸問題を取り上げ発表すること、自らの成長と婦人の社会的視野の拡大・地位向上を目指し、地域や社会の発展に寄与させようというもの。

また、島クトゥバし語やびら大会は、祖先から語り継がれてきた地域の無形文化財である

島クトゥバ（島言葉＝方言）を見直し、その良さを生かして会員相互の親睦と和を図ろうというものです。

婦人の主張では、「老いを学ぶー痴呆の母を抱えて」と題して、自らの介護体験から「老人問題は人間の尊厳にかかわるもので、人間らしく生きるとは何かを、本人や周りの人々は問いかけている」と述べた宮良道子さん（西原台団地支部）が、島クトゥバ大会では、「女性の問題と地位向上」と題して、県内・町内の委員登用率や女性の管理職など社会進出状況について述べた儀間信子さん（翁長支部）が、それぞれ町の代表として中頭郡大会に派遣されることになりました。

（敬称略）。



△「婦人の主張大会」の部で町代表となった宮良道子さん（西原台団地支部）



△「島クトゥバし語やびら大会」の部で町代表となった儀間信子さん（翁長支部）

【主張大会】▽町代表・宮良道子（西原台団地支部）「老いを学ぶー痴呆の母を抱えて」
▽呉屋トミ子（我謝支部）

「子育ては、基本的な生活習慣の自立から」▽崎山弘子（兼久支部）「私の半世紀ー二〇〇一年に夢をたくして」
【島クトゥバ大会】▽町代表・儀間信子（翁長支部）「女性の

問題と地位向上」▽城間富子（棚原支部）「タナバルのシジチのウユミ」▽城間則子（西原ハイツ支部）「地域婦人と共に」



道路、河川をきれいに

第十六回 西原町道路排水愛護デー



△町内各自治会や事業所、婦人会などからたくさんの人が参加して、道路や河川の清掃作業等を行った。

町（翁長正貞町長）では、平成九年度の道路排水愛護デーの運動として、七月二十三日、町内各自治会や事業所、婦人会などと共同して、道路や河川の草刈りや清掃作業を行いました。

参加者は軍手をはめ、それぞれ鎌や草刈り機、ゴミ袋などを手に、町内の主要四カ所の清掃作業を行いました。

10月26日(日) 海邦国体記念スポーツカーニバル 第8回中部トリムマラソン大会

沖縄県総合運動公園陸上競技場(スタート、ゴール) 20km、10km、5km、3kmの各種目。9/27~10/17まで受付。詳しくは、町役場企画財政課 ☎ 098-945-4533、または事務局へ ☎ 098-932-5114

十六議案を承認

―町臨時議会―

西原町議会は、七月三日、臨時議会を開き、町長提出議案九件と議員提出議案七件を審議しました。

平成九年度町一般会計補正予算など八議案は原案可決、国民健康保険税条例の一部を改正する条例は反対多数で否決されました。「郵政事業の現行経営形態の堅持を求める意見書」の提出と同決議、「東部消防組合の特別昇給問題早期解決に関する決議」など議員提出議案七件を可決しました。

「東部消防組合の特別昇給問題早期解決に関する決議」は、同本部の管理者にあてたもので、東部消防組合の管理職四人が辞令・決裁のないまま昇給していた問題について「地域住民に消防業務への信用を失墜させ、多大な不安と疑惑を生じさせた。消防業務は、われわれ住民の生命と財産を守る重要な任務である。よって一日も早い地域住民の信頼回復のための早期解決を求める」としています。

同消防本部は西原町、南風原町、与那原町、佐敷町の四町の分担金などで運営されていますが、町議会で早期解決を求める決議がなされたのは本町が初めて。

町史だより
—No.25—

西原の方言調査

―掛保久編―

マブヤーマブヤー ウー
ティクヨーマブヤー シ
シントーフカマスクトゥ

(靈魂靈魂) でてきてお
いでよ靈魂 肉も豆腐も食
べさせてあげるから)

みなさんこの唱えことば、
なんだか知っていますか?
掛保久の方言調査で新
垣孫栄さんから教えてもらっ



△孫栄さん宅での聞き取りのようす

たマブヤークミ(靈魂籠)の
ことばです。

昔、子どもたちが原因不明の食欲不振や元気がなくなつたとき、驚いたため靈魂が落ちたからだと思はれていました。そのときにおかあさんやおばあさんたちがヒツカケヤー、ヒツカケヤー(引つかける手振り)をしながら冒頭のこことばを唱えるそうです。

また子どもを連れて夜道を行くときには、悪いものから守る意味で子どものひたいに中指でつばをぬり、
アンマークー
トゥー ターガ
ンー ジャビラ
ン

(おかあさんのほかに だれも見ていないよ)

と唱えるそうです。
なんだか親の愛情があふれていることばですよ。

城間盛徳さんは「むかしですね、

うちの親父はハブがいたら歌をよんでこのハブを止めよつたそうです。それでだらして頭をふんでひっぱって捨てよつたそうですよ。この文句を私たちに教えるけれども、覚えてないんです。ハマヌなんとかいいよつたけれどね、一継ぎ(息継ぎしない)でいわんといけなかったらしいですよ。」という話をしていました。ハブに対する呪文のような唱えことばがあったなんて面白いですよ。

もうおひとりの城間精徳さんは、雷が鳴ったら唱えることばクワギーヌマータクワイギヌマータ)や地震がきたときに唱えることば(チヨージカ チヨージカ)など町内に広く伝わることばも残さないといけね、とおっしゃっていました。

精徳さんは琉歌をつくることが得意で、ジンカキギー

(サワフジの花の形が鳩目銭に似ていることからそう呼ばれる)の歌も詠んでいます。

銭掛ぬ花

一、朝夕句増する
銭掛ぬ花に
飛る綾蝶る
寄らて遊ぶ

(このあと五番まで・
城間精徳作)

掛保久の方言調査は新垣孫栄さん、城間盛徳さん、城間精徳さんの三名の方からお話をうかがいました。孫栄さん宅で奥さんのフミさんも交えての楽しい聞き取り調査でした。今回紹介した唱えことばなどは、今ではあまり耳にしなくなっており、若い(?)わたしにとつて調査は感動の連続なのです。

*唱えことばは「西原町史」第4巻・資料編3 西原の民俗」にもいくつか紹介されているのでみなさんも読んでみてくださいね。

お知らせ
でーびる

知っていますか? (身体障害者手帳・療育手帳)

《身体障害者手帳》

身体障害者手帳は、身体に障害のある方が「身体障害者福祉法」に定める障害に該当すると認められた場合に交付されるもので、身障手帳を持つ事によって諸サービス（制度）が受けられるようになります。

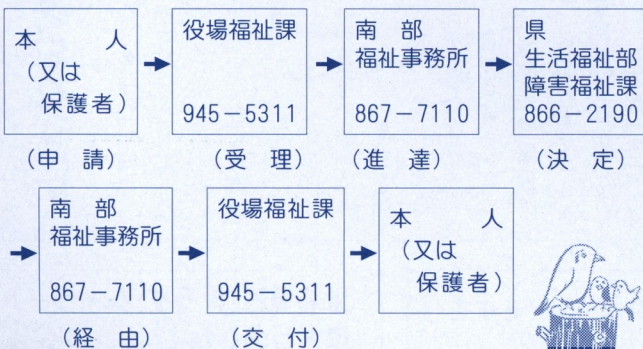
手帳は重度の方から順に1級～6級に区分されています。さらに障害により、視覚、聴覚、音声言語、肢体不自由、内部障害に（呼吸器や心臓、じん臓、ぼうこう又は直腸、小腸）分けられます。

申請に必要な書類

- ①申請書
- ②部位別診断書及び意見書（県知事の指定する医師）
- ①・②においては、役場窓口にて用意してあります。
- ③顔写真（タテ4cm×ヨコ3cm）1葉
- ④印かん

手帳は手続きしてから県で審査の後、2ヶ月あまりで交付されます。

新規交付の手続き



《療育手帳》

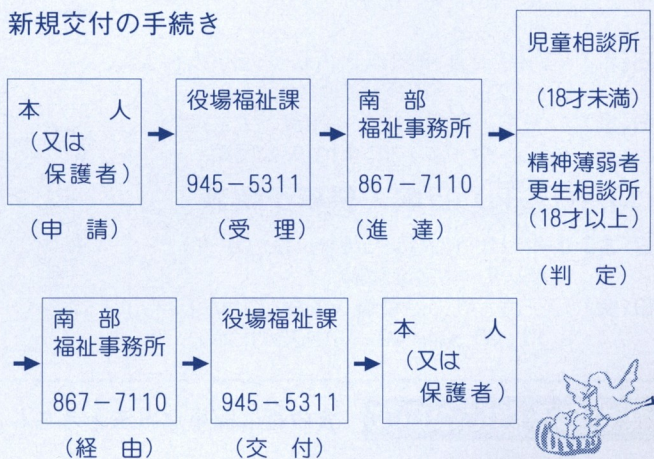
療育手帳は、知的障害の人たちに対して一貫した指導相談等が行われるように昭和48年から交付されています。

療育手帳をもつことによって諸サービス（制度）が受けられるようになります。手帳は重度の方から順にA1、A2、B1、B2に区分されています。

申請に必要な書類

- ①申請書
- ②生育歴
- ①・②においては、役場窓口にて用意してあります。
- ③顔写真（タテ4cm×ヨコ3cm）1葉
- ④印かん
- ⑤住民票抄本

新規交付の手続き



身体障害者手帳・療育手帳所持者並びにご家族の方へ

手帳交付後の手続きはお済みですか？ 次の場合は届け出が必要になります。

手帳の再交付

- ①障害の程度が変わったとき
- ②新たな障害が加わったとき
- ③手帳をなくしたとき
- ④手帳が破れたりしたとき
- ⑤交付当時の写真と実物が相違するとき
- ⑥各所欄に余白なしのとき

住所・氏名変更届

- ①町内で住所が変わったとき
- ②他の県や市町村から転入したとき
- ③氏名が変わったとき

手帳の返還

- ①障害の等級に該当しなくなったとき
- ②死亡したとき（親族等が返還して下さい。）
- ③新しい手帳が再交付されたとき（古い手帳は返還）

詳しいことは、福祉課
(身体障害者担当)
☎945-5311(内線122)
にお問い合わせ
下さい。



寄付・香典返し

(ありがたうございました)

- ▽字我謝二百四十一番地の二、泉川寛善さんが、故母ハッコさんの香典返しとして西原町社会福祉協議会へ十万円。
- ▽字池田四百三十五番地、鳥袋宗盛さんが、故妻ハル子さんの香典返しとして西原町社会福祉協議会へ十万円。
- ▽沖縄タイムス小那覇販売店（代表者・小那覇義光）が、古紙回収の収益金を一般寄付として西原町社会福祉協議会内はばたき共同作業所へ三万七千七百十円。

シロアリ、果樹の害虫防除剤を使用する方へ

今年6月から7月にかけて、西原町の海岸において、魚介類の大量死事例が発生しました。死魚を分析した結果、死因は「クロルピリホス（有機リン殺虫剤）」による急性中毒死だと判明しました。この「クロルピリホス」という薬剤は、シロアリ防除剤や果樹の害虫防除剤として使用されています。

残った薬剤をそのまま排水に流したか、あるいは、散布後の薬剤が降雨等によって、河川に流れでたのが原因ではないかと考えられます。

ご家庭や事業所又は、果樹園等で使用する場合、薬剤の取り扱いについて十分注意するようお願いいたします。

平成9年度 労働安全衛生法に基づく免許試験のご案内

一級ボイラー技士、潜水士、クレーン運転士、移動式クレーン運転士、二級ボイラー技士(A)・(B)、第1・2種衛生管理者、ボイラー整備士。受付期間:平成9年9月30日(火)～10月3日(金)、問い合わせ等は沖縄県労働基準協会へ ☎098-868-2826

9月(SEP.) 行事・祭事予定表

- 10日(水) ○ベビースクール1 (3カ月～5カ月児
(第1・2子)、13:30、町中央公民館)
○第37回全国下水道促進デー広報パレード
- 11日(木) ○3歳児健診 (H6.5.15～H6.6.11生
まれ、13:30～14:15、町社会福祉
センター)
- 12日(金) ○子宮・乳ガン検査 (20歳以上女性、
13:30～14:30、町中央公民館)
- 15日(月) ○敬老の日
- 16日(火) ○ベビースクール2 (3カ月～5カ月児
(第1・2子)、13:30、町中央公民館)
- 18日(木) ○1歳半健診 (H8.2.11～H8.3.18生
まれ、13:30～14:15、町中央公民館)
- 19日(金) ○子宮・乳ガン検査 (20歳以上女性、
13:30～14:30、町中央公民館)
- 20日(土) ○DT (小学校6年生、13:30～14:
30、町中央公民館)
- 23日(火) ○秋分の日
- 25日(木) ○平成9年度熟年スポレク西原大会
(13:00～、町民体育館)
- 26日(金) ○子宮・乳ガン検査 (20歳以上女性、
13:30～14:30、町中央公民館)

10月(OCT.) 行事・祭事予定表

- 2日(木) ○ポリオ (3カ月～7歳半、13:00～13:
45、町中央公民館)
- 3日(金) ○子宮・乳ガン検査 (20歳以上女性、
13:30～14:30、町中央公民館)

国民年金は口座振替でネ

国民年金などの公的年金は、国民みんなが加入する制度です。それを適切に運営していく責任は、国民全体にあるといえましょう。そこで年金を受給している方も、その権利を適切に行使し、公平な制度を維持するためにも、後になって面倒な手続きが発生するのを避けるためにも、国民年金などの公的年金を受給している方々は、次のような時には必ず届け出てください。



- ◇誕生日が来たとき
- ◇厚生年金の老齢年金をうけている六十五歳未満の人が就職したり、退職したとき
- ◇加給年金額の対象者が亡くなったとき、離婚したとき
- ◇加給年金額の対象者である配偶者が年金をもらえなくなったとき
- ◇二つ以上の年金をもらえるようになったとき
- ◇家族の方は、年金を受けている人が亡くなったとき



年金の各種の届出には、今年から付けられた基礎年金番号と年金コードを記入していただくこととなります。

国民年金などの公的年金は自分自身の権利であり、自分でその権利を適切に行使し、手続きを守ることが必要になります。

お問い合わせは
町役場国民健康保険課 国民年金係
☎ 九四五一四七九一
(内線一五三)

年金受給者の皆さんへ

届け出を忘れずに!

食中毒予防について

食中毒は簡単な方法をきちんと守れば予防できます。

食中毒というと、レストランや旅館などの飲食店でのご飯が原因と思われるがちですが、毎日食べている家庭の食事でも発生していますし、発生する危険がたくさん潜んでいます。

そこで、家庭での食中毒を予防するために、6つのポイントをチェックしましょう。

1. 食品の購入

- ☆賞味期限の確認をする。
- ☆生鮮食品は新鮮な物を購入。
- ☆肉や魚などの水分が漏れないようにビニール袋などにそれぞれ分けて包み、持ち帰る。
- ☆冷蔵や冷凍などの温度管理の必要な食品の購入は買い物の最後にし、購入後は早めに帰る。

3. 下準備

- ☆台所を清潔にする。
- ☆調理の際には手や調理器具を十分洗いましょ。
- ☆包丁や、まな板は洗い熱湯をかけたのち使う。
- ☆生の食品はしっかり洗う。
- ☆生の肉、魚などを取り扱った後には、再度手を洗いましょ。
- ☆井戸水を使用している場合、水質に気をつけましょ。

5. 食 事

- ☆盛付け前、食事の前に十分手を洗いましょ。
- ☆調理した食品は室温で放置せず、早めに食べましょ。
- ☆生水はできるだけ煮沸して飲用しましょ。

2. 家庭での保存

- ☆冷蔵や冷凍の必要な食品は、ビニール袋や容器に入れ、すぐに冷蔵庫や冷凍庫へ入れる。
- 但し、詰めすぎ注意 (7割程度が目安)
- ☆保存は冷蔵庫で10℃以下、冷凍庫は-15℃以下がめやすです。
- ☆冷蔵庫の過信はやめ、購入後は早めに使い切る。

4. 調 理

- ☆過熱して調理する食品や電子レンジを使う調理は十分加熱する。
(中心部の温度が75℃、1分以上過熱がめやす)
- ☆調理を途中でやめる時には、冷蔵庫に入れます。
- ☆電子レンジを使う場合は、電子レンジ用の容器、ふたを使い調理時間に気をつける。
- ☆タオルやフキンは清潔な物を使う。
- ☆手洗いを十分にします。

6. 残った食品

- ☆残った食品は浅い容器に小分けして保存(冷凍・冷蔵)
- ☆時間がたちすぎたら思い切って捨てましょ。
- ☆温め直すときは十分加熱しましょ。

※ 1. 激しい腹痛、下痢、嘔吐、発熱等があれば、すぐに病院受診し、保育園・幼稚園児及び学童の場合は念の為登園・登校を見合わせましょ。

西原町役場保健衛生課 ☎ 945-5013 (164)

電算機器(ドライ・シーラー)導入しました!

水道課

電算機器(ドライシーラー)導入により平成9年8月1日より封筒様式の水道料金納付通知書からシーリングはがきへ変更。また、水道料金の督促状も様式が変更になり、最寄りの金融機関で納めることが出来るようになりました。

平成9年度
熟年スポレク西原大会

“すりてい遊ばな 語てい遊ばな”

目的 高齢者の健康の維持増進と生きがいを高めるために、スポーツやレクリエーションを通して地域交流の輪を広げ、老人クラブ会員の拡充を図る。

主催 西原町老人クラブ連合会
後援 西原町、西原町社会福祉協議会、西原町教育委員会、西原町婦人連合会

日時 平成9年9月25日(木)
午後1時～

場所 西原町民体育館
対象 60歳以上の町民

わたしたちは、スポーツに親しみ、健康の増進に努めましょ。(町民憲章)